



シリーズ

躍動する子どもたち！

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184



息の合った演技で伝統の「いぶき威舞希」を披露（庄原中学校）



大技に憧れのまなざしが集まる
（永末小学校）



中学生が小学生をリード
（比和中学校）

庄原中学校



本年度の庄原中学校体育祭は、「せいりゅう青龍」と「しゅうせう朱雀」の2団に分かれ、各団長を中心に勝利を目指して熱戦を繰り広げました。

6月7日の本番は、途中から雨が降り始めたため午前中で中断し、午後の種目は9日に延期。2日間にわたる開催となりました。

予期せぬ中断や延期にも、生徒たちは気持ちを切らすことなく競技に臨みました。特に3年生は、1日目最後の種目となったダンス・集団行動を雨の中で最後までやり抜き、その真剣な姿に会場は大きな拍手と感動に包まれました。2日目も生徒たちの熱意は衰えることなく、一人一人が最後まで全力を尽くし、本校伝統の踊り「いぶき威舞希」も無事に披露できました。

困難を乗り越え、心をつ一つにして創り上げた体育祭。この経験で深まった仲間との絆や、最後までやり抜く力を胸に、次は合唱祭へ向けて歩みを進めます。

「体力づくり編」

永末小学校



永末小学校では、児童一人一人が目標を設定し、その達成に向けて体力づくりに取り組んでいます。

秋の全校マラソン記録会に向けては、

業間マラソンや体育の授業で本番のコースを走るなど、日々練習を重ねています。

本番では、沿道からの声援を力に変え、苦しくても最後まで粘り強く走り抜きました。多くの児童が練習時の記録を更新し、目標を達成する喜びを味わいました。

また、冬季体力づくりとして実施している「縄跳び検定」では、検定日を2回設けることで、1回目の記録を上回ろうと、練習時間以外にも自主的に練習する姿が多く見られます。表彰式では、段位を取得した児童が技を披露し、「はやぶさ」などの難しい技に、「私も跳べるようになりたい」と憧れの声が上がるなど、さらなる意欲向上につながっています。

比和中学校



スパークル
「SPARKLE ～一生懸命・やり切る～」

これは、比和小学校・中学校合同運動会に向けて児童生徒が考えたテーマです。

「SPARKLE」には、「きらめく」「輝く」「生き生きとする」という意味が込められており、児童生徒は一人一人が輝く運動会を目指して練習に励みました。

その象徴となったのが、中学校で初めて取り組んだ応援合戦です。振り付けや隊形づくりなど、何もないところから試行錯誤を重ね、本番では迫力ある演技を披露しました。全力で声を響かせ、一つ一つの動きに思いを込めた姿に、目頭を押さえる観客の姿も見られるほど、感動あふれる応援合戦となりました。

生徒からは、「大変なこともたくさんあったけど、楽しく、一人一人が輝いて、一生懸命やり切ることができた」との感想が聞かれました。